



## ☆本を読もう☆本で調べよう☆

新年度が始まり1か月、休み時間になると毎日たくさん子どもたちが図書室で本を借りたり、友達と一緒に本を読んだりしています。委員会活動も始まり、新しく決まった図書委員さんたちが図書室の多々納先生に教えてもらいながら、カウンター当番を頑張っています。

今年度は、**学年貸出日**を設け、少なくとも週に1度は誰もが本を借りるように取り組むことにしました。(もちろん毎日のように借りていく子もたくさんいます!)常に読みたい本を身近にもち、本を読む習慣をつけていきたいものです。

他の学年も借りられますよ!



### 学年貸出日



|      | 月  | 火  | 水 | 木  | 金  |
|------|----|----|---|----|----|
| 業間休み | 4年 | 5年 |   |    |    |
| 昼休み  | 2年 | 3年 |   | 1年 | 6年 |



## 1年生もたくさん読んでね!

4月20日(水)3時間目に、1年生が図書室利用の仕方や本の貸し出しについての学習をしました。図書室は本を読んだり、本で調べたりするお部屋であること、本はみんなの本だから大事にし、決まった場所にかえすことなどの話をうなずきながら目を輝かせてしっかり聞くことができました。1年生の子どもたちは、これからきまりを守って図書室を利用し、たくさん本を借りて読んでくれることでしょう!楽しみです。



3年生は、初めてきらりの学習(総合的な学習)が始まります。そこで上手に調べ学習をするために、索引の使い方の学習をしました。索引を使って、早く自分の調べたいことを見付けることができるようになりました。

また、今年度から子ども**新聞を3紙(毎日、朝日、読売)**取ることになり、図書室前の廊下に読みやすいように置いています。子どもたちが興味をもって読んでいる姿が見られるようになりました。新聞からの情報も進んで読み、学習に活用して欲しいと思います。

今年度もたくさん子どもたちが図書室を利用し、本にふれる時間をしっかりもってほしいと思っています。

# うちどく 今年度も☆家読☆をしましょう！

## 家読とは？

「家庭読書」を略した呼び名で、「家族ふれあい読書」を意味します。家族で読書の習慣を共有し、読書を通して、家族のコミュニケーションを深めようというものです。

読み聞かせでも、家族で同じ本を読んでも、それぞれの本を読んでも構いません。家読のやり方に決まりはありません。「家族一緒になって読書を楽しむ時間を過ごして、読んだ本についての話をする。」これが家読です。

春休みには、たくさんのご家庭で家読に取り組んでいただきました。今回も、家読に取り組んでよかったという感想をたくさんいただきました。ご協力ありがとうございました。

この連休にもぜひ取り組んでみてください。1回20分を目標に1日でもチャレンジしてみてください。取り組まれた方の感想をお聞かせください。よろしくお願いします。



## ～お家の方の感想～

それぞれ違った本を読んでも、同じ空間で静かに読書するというのは、家族一緒の幸せな時間でした。

子どものためにと読んだ本でしたが、自分も考えさせられました。子どもと一緒に考えることができました。

読み聞かせをしていると、親子で共通の時間を過ごしている思いが強くなりました。今度は、感想の交流の時間をとってみたいです。

ゆっくり読書する時間をあえて作って見たら、久しぶりに集中できて、どんどん時間が過ぎていきました。  
忙しい毎日の中、読書の時間を作るのもいいですね。

小さな弟たちと一緒に読み聞かせをしました。集中して聞いてくれました。何オになっても読んで聞かせてあげることが大事なことだと思いました。

久しぶりに昔話を一緒に読んで、知らないお話もいっぱいあり、おもしろかったです。また一緒にお話を読んで感想を言い合いたいです。

(切り取り線)

## うちどく 家読 感想

年 組 名前

取り組み方

例 読み聞かせ 同じ本を読む それぞれの本を読む 感想の交流等

( 日間、1回 分位)

感想

子どもの感想

お家の人の感想

ご協力ありがとうございました。5月9日（月）、担任までご提出ください。